

## 謹賀新年



野平自治振興会わら細工講習会

### 1月号の記事

新年のご挨拶	.....2
地域づくり協議会の活動	.....3
地区活動	.....4
	.....5
八坂小・中学校	.....6
たけのこ保育園・山留の風	.....7
コミュニティースクール	.....8
	.....9
八坂地区文化祭	.....10
	.....11
話題の八坂人・編集後記	.....12



明けまして おめでとうございます。  
平成31年の新年を迎え、今年一年が、  
皆様にとって良い年でありますようご祈  
念申し上げます。



八坂地区の人口：847人  
(男416・女431 高齢化率35.5%)  
八坂地区の世帯：367世帯  
(平成30年12月1日現在)

# 新年のご挨拶



八坂地域づくり  
協議会長  
竹村 信吉

新年あけましておめでとうございます。  
皆さま。

年頭に当たり、新年のご挨拶  
を申し上げます。

日頃は当協議会の運営にご協  
力を賜り誠にありがとうございます。

昨年を振り返ってみますと、  
気象の変化により、西日本では、  
大規模な豪雨災害に見舞われ、  
また北海道では、大規模な地震  
が発生し、地殻変動により液状  
化現象も発生しました。

夏は、全国的に猛暑日が例年  
以上に続く、異常気象の年でも  
ありました。

協議会の事業で行った、  
「ビューポイント整備として『大  
滝周辺』と『唐花見湿原の遊歩  
道』整備に大勢の地域ポラン  
ティアの方が参加・協力を頂き  
ました。5回目を迎える『夏祭  
り』も地域住民の皆様の『協力  
の賜物により盛大に開催できた  
こと』を心より感謝申し上げます。

公民館事業では、ふれあい運  
動会は雨天で中止となりました  
が、八坂地区文化祭は、今年、  
講演を無くし、ステージ発表を  
1日行い、観客の方が、お昼過  
ぎまで残っている風景を見て、  
住民参加型の文化祭に成ったの  
ではと感じたところであります。

さて、平成29年度まで建設を  
進めてきた、定住促進住宅につ  
いては、今年4月にはすべて入  
居頂いているところであります。

しかし、人口減少は進んでい  
る中、人口増加対策として、定  
住促進住宅の建設は今後も必要  
とし、新たな建設を市に要望い  
たしました。また、自治振興会  
長を中心に空き家の再調査を行  
い、定住促進を今後とも進めて  
参りたいと考えております。

高齢化に伴う人手不足によっ  
て、役員選出が難しい集落が、  
多くなっている中、この課題に  
ついては、八坂地域づくり協議  
会でも積極的に取り組んで行き  
たいと考えておりますので、地  
域の皆さんにもご協力をお願い  
申し上げます。新年のご挨拶と  
いたします。



# 新年のご挨拶

大町市八坂支所長  
大日方 隆

皆様には、ご家族お揃いで新年を  
お迎えのこととお慶び申し上げま  
す。

日頃は、八坂支所の事業の推進  
にあたり、格別なるご理解とご協力  
を賜り、心から感謝申し上げます。  
どうぞ本年もよろしくお願い申し  
上げます。

さて、昨年度を振り返ってみます  
と、今までに経験したことないよう  
な酷暑に見舞われ、その後は、雨続  
きで田畑の収穫作業へ影響するな  
ど、多大な影響がでしたが、年末  
にかけては雪の少ない、暖かな陽気  
となりました。

さて、昨年の行事では、「北アル  
プス国際芸術祭」で、八坂地区の皆  
さんの力で制作していただいた「ハ  
ンブーウェーブ」のお別れ会を5月  
19日に開催し、別れを惜んだこと  
ろですが、地域の皆さんが、心を一  
つにして、取り組んだことは、非常  
に高い評価をいただきました。

次回の国際芸術祭は2020年に  
開催される予定となっております  
が、国際芸術祭を通じて「八坂の力」  
を発揮していただき、人との交流の  
中から、八坂の良さを再発見してい  
ただければと思います。

当地区には、地域づくり協議会や自  
治振興会の皆様のご協力により、空き  
家紹介事業や定住促進住宅に入居さ  
れた「ターナー」の方が、128人となり、  
地区人口の15.3%となり、子供の数も  
徐々に増え、本当に嬉しく感じており  
ます。今後、この流れを絶やすこと  
なく進めていくことが重要だと考えて  
おります。

また、その反面、一部の集落では、  
著しく高齢化が進み、愛護会や地域の  
お祭りなどができなくなっている実態  
があります。

今後は、「ターナー」された皆さんから  
も力をお借りし、共に安心して住める  
地域を作り上げていく「新しい八坂の  
地域づくり」の必要性和、集落や自治  
振興会の組織の在り方などについて見  
直し、検討する必要性も感じていると  
ころでございます。

今年、地域振興支援員を八坂支所  
内に配置し、地域づくり協議会の皆さ  
んを中心に、地域の皆さんからも、大  
滝や唐花見湿原のポランティア活動を  
行っていたいただきました。今後、このよ  
うな機会が増えるかと思いますが、「こ  
こに住む人たちが、自分たちの力でこ  
の地域を守る」という気持ちで、活動  
を進めていければと思っておりますの  
で、宜しくお願いします。

今年、一年が皆様にとって良い年  
になりますようご祈念申し上げます。新年の  
ご挨拶といたします。

# 地域づくり協議会の活動から

期 日	区 分	内 容 等
10/25	県道と砂防施設の整備促進に関する要望	・大町建設事務所と犀川砂防事務所に要望
11/12	地域振興検討会議	・地域の問題点、ボランティア活動について他
11/14	やさかだより編集委員会	・やさかだよりNo.70号の編集について
11/20	大町市議会議員との懇談会	・参加人数 12名
11/23	地域づくり協議会・先進地視察	・住民主導の定住促進、地域づくりを学ぶ
11/29	地域振興部会	・ホームページについて ・移住者アンケートについて
12/1 ～31	年末の交通安全運動	・交通安全協会事業所訪問 ・大平地区高齢者宅訪問（防犯協会と合同）
12/6	地域振興検討会議	・景観整備ボランティア活動について他
12/14	八坂地域づくり協議会	・ホームページ更新について ・集落機能強化の調査検討 ・八坂地区敬老会の運営について

## 伊那市新山地区 視察研修について

支援員 小浪和正

八坂地域づくり協議会では11月23日（金）に地域づくりの先進地視察として伊那市の新山地区を訪れました。

新山地区の地形は、伊那市の中心地から、車で15分位入った山間に位置し、八坂では野平と舟場を合わせた程度の地域で、人口や戸数は、現在の八坂地区の戸数や人口に似た状況です。

新山地区は子供の減少から、保育園が休園となり自らの手で保育園を復活させた地区です。復活後も「定住促進協議会」として益々、活発に活動されている地域です。新山地区は古くから「全戸PTA」として子供のいない世帯もPTAに加入し、PTAのOBからも評議員を選出し、地区住民全員で保育園、小学校を支えており、その活動に賛同された方たちが、首都圏から移住し、現在は保育園の定員いっぱいとなり、移住者や伊那市内の他地区からも園児が通うようになりました。また、保育園の休園時期に小学校が小規模特認校に認定され、当初は自分達の車で送迎ボランティアを組織し、伊那市内までの送迎をし、頑張ってきたそうです。

また、当地区は、豪雨による倒木などの処理も自らが行き、通勤・通学に間に合わせる活動もされているようです。また、「定住促進会議」は、毎月定例に開催し、会議には、保育園の園長や、小学校の校長先生も出席をして、委員の欠席はあり得ないそうです。

また、秋の「キノコ狩り」のお祭りには、遠くオーストラリアやインドからも日本の原風景を求めて当地を訪れたそうです。当地区は、何より地元を愛する気持ちが強く自信を持って暮らしておられます。自分たちの地域をどうしたいのかを明確に持って活動しており、その地域の活動や成果を見て行政側から逆に援助の手を差し伸べるような素晴らしい行動力、情熱をお持ちです。参加された委員の皆さんも大いに刺激を受け、バスの中でも活発な意見が交わされていました。昨年は、大滝と唐花見の周辺整備に大勢のボランティアの力で景観整備を行うことができました。この小さな芽を育てていくことが大切なことと思いました。



大平地区（矢下地区バス旅行）

あけましておめでとございます。本年もよろしくお願いいたします。昨年12月に大平矢下地区で実施しました旅行についてご報告させていただきます。

旅行は、御庚申の詰度も兼ねて12月1日（土）から12月2日（日）1泊2日に伊豆方面へ行ってきました。今回は、3年ぶりであり総勢17名の参加者で行いました。1日目は、甲府から朝霧高原を通り富士山本宮大社で参拝後、沼津市内で海鮮料理を食べ天城湯ヶ島の金龍山明徳寺へ行きました。こちらのお寺、五百年も前からの東司（トイレ）の守り神。下の世話にならぬよう、下の病にならぬようお祈りできる神様なのです。



トイレの神様「烏枢沙摩明王」は、炎の力で不浄を清浄と化す力を持つ神様。怨霊の入口ともされる便所を清めることで、下の病気で悩む人を救う為にも力を発揮してくれるそうです。全国でも明王をお祀りし参拝できるお寺は希少です。また、烏枢沙摩明王の力は、「浄化」の力なのでトイレに限らず、心清らかな毎日を求め、全国津々浦々から沢山の参拝者が訪れます。大変貴重な体験をさせていただきました。ぜひ皆さんも機会があったら訪れてみてください。

宿泊は、下田白浜のホテルにて、温泉と食事を満喫してきました。泊まりで自治会の方々と親睦を深められる機会がないので、今後継続して行っていききたい行事のひとつだと改めて感じました。

最後に、参加された方々が無事帰宅でき、楽しい時間を過ごせたことに感謝し今回の活動報告とさせていただきます。

大平編集委員 平林 宏一

竹工作と苔玉作り 男女共同参画事業

仁科 伸一郎

10月27日に、八坂地区の男女共同参画社会推進事業として、竹工作と苔玉作りを行いました。この事業は、市内6地区でそれぞれコーディネーターがいて、実行委員会を立ち上げ、企画・運営されています。当地区は、八坂公民館の全面的な支援を賜り、文化祭に合わせて行うことができました。

竹工作は、芸術祭の作品「バンブーウェーブ」に使われた竹で、竹トンボと弓の形の打楽器らしきものを作りました。北澤豊繁さんと公民館長が講師をしてくださり、竹の削り方や曲げ方、糸の止め方



などを教わりました。参加者の大人が小刀を使い、一心不乱に竹を削る姿に「童心に還る」とはこういうことなのかなと感じました。

苔玉作りでは、公民館の職員の方が用意して下さった土に苔を貼り、思い思いの作品にしていきました。

その後行われた茶話会で、コーディネーターの会の会長、宮永様が「こういった交流を通して、相互理解が深まればいいですね。」とお話し下さいました。参加者35名、よい交流ができました。



## 八坂地区防災の日

舟場編集委員 山崎重幸

11月11日(日)に八坂地区、一斉に訓練が行われました。朝8時に避難訓練の放送があり大勢の方が、舟場基幹センターへ避難し、安否確認の報告を消防団にしました。その後、八坂支所の2次避難訓練には、役員代表が参加し、「講座・ドクターへの運用方法について」「消火訓練」「救出訓練」「救護訓練」「救命訓練」「煙体験」を体験しました。炊き出しのご飯も大変美味しくいただきました。

舟場自治振興会の防災訓練を午後1時より消防団員の方々をお願いして、基幹センターで、災害時支え合いマップで安否確認の相互確認を行



いました。どこに避難するか、災害の状況による対応策なども確認しました。男性は消防団のOBなので、女性中心に消火栓からの放水訓練を行いました。消防団員より消火栓蓋の開け方、ホースのつなぎ方や、足を開き、腰を下げて水圧で振り回されないように2人でしっかり筒先を持つ方法、感電事故となるため絶対に送電線には放水しない事など、安全に行われるように指導していただきました。女性は初めての方もよい経験になったと思います。1日良い天気で大変助かりました。その後役員で各集落内の消火栓の点検を行いました。指導に当たってくださいました。消防団の皆さん大変ありがとうございました。



野平でハロウィンパーティ  
川手地区の方たちで楽しいハロウィンパーティが開催されました。お母さん方が料理を準備中も子供たちはすでにパーティ状態の大賑わい。それぞれの扮装になりきっての大はしゃぎ。お母さんたちの準備も終わり、撮影会も終わり、お楽しみ品のビンゴ大会が始まりました。

遊びまわっていた子供たちも、真剣な眼差しで、ビンゴカードにとらめっこ。この時ばかりは読み上げる数字に一喜一憂。豪華？商品を選ぶのも真剣そのもの。渋谷でのハロウィンは、事件となってしまいました。ここでは、本当に子供たちが楽しみ、お母さんが食事を用意している間も、お姉さんたちが、小さい子の面倒を見て、思いやりにあふれていました。小さい頃にみんなと一緒に楽しい経験をするのはとても良いことだと思います。準備するお母さん方は大変でしょうがぜひ続けていただきたいと思います。

野平編集委員 佐藤 真一

五感で感じた長野見学

八坂小学校



県知事と記念撮影

10月29日(月)に4年生は、長野見学に行ってきました。「長野県庁」では、この日は知事室の見学は執務の関係でできませんが、登庁している阿部知事にばったり会うことができ、お話と記念撮影をさせていただいたのが左の写真です。

その後、善光寺を見学して宿坊で昼食をとり、午後にはマルコメ味噌の工場見学でした。

郷土学習交流会 貴重な経験ができました

八坂公民館主催の「郷土学習交流会」が11月22日(木)に実施されました。

地域の講師の方から「おやぎづくの」「そば料理」「茶道」「わら細工」の4つの講座のうち一つを、こどもたちそれぞれの希望に合わせて体験学習をし、講師の皆さんと交流することができました。



八坂中学校

11月人権教育月間から～八坂中学校

秋の人権教育月間では、校長講話で生徒に童謡「ぞうさん」の作者「まど みちお」さんの想いを伝えて『違うからすばらしい。違うから仲良くしよう』を根幹に授業を展開しました。1日(木)の一日人権の日には、全校道徳の授業「4つのコーナー」を行いました。1年生の男子が「自分と違う考えを聞くことができ、楽しかった」と違いの良さを発表しました。



発表者に顔を向けて聞き入る生徒

29日(木)には北安曇人権擁護委員11名による「人権教室」が行われました。絵本「わたしはあかねこ」の読み聞かせがあり、次のグループ協議ではもし自分があかねこだったら…と考え、前向きな思いと自分の弱さに葛藤しながら、互いの見方や考え方の違いを尊重し合う話し合いが交わされました。3年生男子は、「互いの個性を大切に、相手思いやることを意識して、日々友達と接したい」と振り返り、今後人権感覚を磨く意欲を見せていました。



読み聞かせ：絵本「わたしはあかねこ」

## たけのこ保育園

11月30日(金)には、ふれあい発表会がありました。大勢のお家の方の前で、ワクワク・ドキドキしながら歌を歌ったり、合奏をしたり、劇(ブレメンの音楽隊)をした子ども達ですが、お家の方の温かな声援を受け、皆精一杯頑張る事ができました。保護者会の方の劇も大うけで、ほのぼのとした発表会となりました。

11月7日(水)に、たけのこ保育園で楽しみにしていた“おもちゃつき”が行われました。どうやってつくるだろうと興味津々で、地域の方がつく様子をみている子ども達の前で、よい音をたてながらもち米がお餅に変わっていき“あ、お餅になった”と子ども達も嬉しそうでした。今年も小学校1年生が来てくれ年長さんと交替でお餅をついたり、園庭で一緒にあそんだり、楽しい時間を過ごす事ができました。また、お餅をついてくれた地域の方にお礼の歌を聞いていただいたり、できたての美味しいお餅と一緒に舌鼓を打ち、心もお腹も満たされた一時でした。

お餅つき

ふれあい発表会



## 山留の風

育てる会 TEL:26-2306 HP:www.sodateru.or.jp

### 第43回 収穫祭

11月17日(土)、18日(日)今年度の山村留学生32名が準備を進めてきた収穫祭を開催しました。

17日(土)の午前中には、祭壇を構え「自然の神様に感謝する式」を行い、午後は、個人体験発表、全体発表として創作劇・太鼓・民舞を発表しました。個人体験発表は、4月からの山村留学生生活の中で、ここでしかできないこと・自分で体験すること・夢中になることの3つの観点を大切にし、積み重ねてきた体験を発表しました。1人約5分の短い時間での発表でしたが、学園生それぞれの個性の現れる体験となりました。

全体発表は、オリジナル脚本で全員役者兼裏方を務めました。劇中には演目の太鼓・民舞の発表も入り、観客の皆さまの拍手に包まれての幕引きとなりました。

18日(日)は、日頃お世話になっている地域の皆様へ感謝の気持ちを込めて、模擬店とバザーを開きました。この日は学園生の太鼓発表を皮切りに、模擬店が開店し、多くの方でにぎわいました。今年は暖冬でこの日も暖かな日差しの下での出店で、飲食物はほぼ完売でした。

もう一度子どもたちの発表と、その後に締めイベントとして抽選会を行いました。学園生全員から「ありがとうございました!」と感謝の挨拶をして収穫祭は幕を閉じました。

たくさんの地域の皆様による多くの支えがあって、この収穫祭の日を迎えることができました。本当にありがとうございました。

今年度も残すところ3カ月となりましたが、どうぞよろしくお願い致します。



祭儀「自然の神様に感謝する式」



やまなみ  
創作劇「山並家と峰の天狗」

# おらほの学校やさか



## 八坂小学校の活動～小学5年生 田んぼ活動記録（最終章）～

### 収穫祭～11月16日（金）～

4月から始まった米作りも収穫祭を迎えました。先生、保護者、そして地域の方々の協力を受けながら、水路整備、種まき、田おこし、代掻き、田植え、水管理、草取り、稲刈り、脱穀、あぜシート回収作業と7か月間田んぼと向き合い、とても貴重な経験ができました。子どもたちは、お手伝いしていただいた方々に感謝の気持ちを伝えるために一所懸命に準備してきました。

保護者や学校支援ボランティア（北澤三恵子さん、渡辺恵子さん）、平林先生も準備に協力していただき、米作りの指導をいただいた北澤廣佳さん、北澤豊繁さんをご招待させていただきました。餅つきの時には、子どもたち、保護者もみんなで行い、中庭は笑顔にあふれていました。平林先生や渡辺恵子さん、北澤直樹さん（虹心（にこ）くん父）は、熟練の技でとても上手でした。

当日のメニューは、1. お餅 2. お雑煮 3. 白玉入りフルーツポンチと、お餅攻めでみんなのお腹を満たしていました。子どもたちの米作りの発表でも、お客さんから笑い声があがっていたので、子どもたちもホッと心をなでおろしていました。特に

北澤廣佳さんや北澤豊繁さんの子どもたちのものまねは、多くの笑いを誘っていました。子どもたちの作ったもち米の販売は、大盛況であつという間に子どもたちの売り上手（？）で完売でした！！



担任の和田先生からは、「子どもたちの発表の一番のこだわりは劇でした。シナリオからセリフ、小道具と細部にわたって自分たちでつくりあげてきました。どんな演出をしたら様子が伝わるか、どんなやり取りを入れたら楽しんでもらえるか、観る人のことを考えてアイデアを出し合いました。さらに、『5年生らしく、どうしたら笑いがとれるか』ここにもとてもこだわってきました。準備することはたくさんありましたが、そんな遊び心をもっていた子どもたちだからこそ苦労も楽しんでいる雰囲気が伝わっていましたね！」と満面の笑顔で感想をいただきました。5年生の収穫祭は、子どもたち1人1人の成長とお世話になった方々への感謝の気持ちが十分に伝わってくる素晴らしい会となりました。



## 八坂中学校の活動～中学3年生 最後のそば打ち～



今年は、そば蒺き、そば刈りも無事に行うことができたそば学習の締めくくり『最後のそば打ち』が12月3日(月)に行われました。北澤千代司さん、渡辺恵子さんに教えていただきながら、今年はそば打ち認定のため、八坂支所長の大日方隆さん、学習支援ボランティアコーディネータの北澤伸夫さんにも見ていただきながら、一人一人が全ての工程を自分の手で行い、無事に全員がおいしいおそばを打つことができました。子どもたちの感想をご紹介します(\*生活ノートより抜粋)。

森谷 美咲さん(切久保)

『中学校での最後のそば打ちでしたが、1、2年生の時よりも、早くおいしく出来て、さっすが3年生だぁ!と思いました。私も、色々ハプニングがあったけど、3年間で一番うまく出来ました!!そばを切るときに、吉沢先生とゆりか先生と高橋先生に切ってもらって、話しながらできて楽しかったです。切る大トリはKくんが飾ってくれました。(笑←自分で大トリは俺がと言ってた)色々な人が切ったから色々な太さがありました。

「え?これうどん?(笑)」って、私を見て言ってくる人がいました!がんばって細くしようとしたけど、性格出ますね!でも、おいしく食べられたし、何と!3年間の中で初めて残さずに食べ切った!手伝ってもらったけど・・・最後のそば打ち、楽しく、丁寧に、そしておいしく食べることができました!そばの学習を通して、たくさんの地域の方々への支えがあるのを改めて実感しました。私たちがあと3か月ちょっとで卒業になってしまいますが、1時間目支所へアルミ缶回収の挨拶に行きましたが、地域の方への感謝を伝える部分が少ないように感じたので、これから何かしら地域に返していけたらもっと八坂がよくなると思いました。』



担任の矢口先生から、「相変わらず、手際よく動いてそばを打ち、片付けまでを余裕をもって終わられる3年生の姿には、いつも感心させられます。この八坂でしかできない経験は、とても貴重なものだと、私は年々、強く感じています。3回のそば学習で感じた地域の方の支えや自然の厳しさ、そして自分の手で作り上げたそばの味をこれからの人生の力として、より深い見方や考え方をもちた生活を送ってほしいと願っています。」と感想をいただきました。残りわずかとなった中学生生活をかけがえのない仲間と共に八坂の良さを存分に体験し楽しみ、3月には笑顔で卒業していく姿を楽しみにしています。

## 八坂地区文化祭

10月27日（土）、28日（日）の両日、八坂小学校を会場に地区文化祭を開催しました。今年度は、27日（土）の午後に八坂地区男女共同参画の集いを同会場で開催することや、例年の講演会は計画せず、地域の皆さんのステージ発表等に変更し、日々活動の成果を終日楽しむことができました。客席はいつも満員状態で発表が終わるたびに大きな拍手が体育館に響いていました。展示発表では、地域で熱心に活動されているサークルの皆さんの力作や、保育園・学校展の見ごたえのある作品が展示され地域挙げての文化祭になりました。また、賑わい広場では、お餅やフリーマーケットでの販売、小学生の手作りグッズの販売など新しい取り組みもあり、多くの来場者で賑わっていました。（P11に写真あり）



子ども獅子舞  
野平音楽保存会



地域のみなさんとの交流演奏（青竜太鼓）

## 八坂塾「磨崖仏見学会」



11月17日に磨崖仏見学会を開催しました。講師に市文化財センターの島田所長さんをお願いして、八坂地区内にある「鹿籠（かろう）」と「矢田川（やたがわ）」の2地区の磨崖仏と、途中にある山城跡（鹿籠大峰山城）の見学も行いました。鹿籠の磨崖仏は山道を40分くらい歩かないと行けない場所にあるので当初は心配しましたが、みんな元気に歩ききり、島田所長さんから磨崖仏についての説明を熱心に聞いていました。



## 八坂塾「そば打ち講習会」

11月30日から全5回の日程でそば打ち講習会を八坂ふるさと体験館で開催しました。八坂地区の郷土食であるそばを多くの方々に広めるとともに、そば打ち後継者の育成を図るため、地域づくり協議会にも協力をいただき開催しています。今年は半数近くが初めてそば打ちをする人で、初回は「うまく広がらないよー」と悪戦苦闘していましたが、最終回にはみんなそれなり？のそばに仕上がっていました。



鹿籠の磨崖仏前で記念撮影



八坂地区文化祭写真集





5月に野平定住促進住宅に入居された中条さんご一家をご紹介します。今回は、中条さんご自身に原稿を書いていただきました。

中条さんは、大町病院に勤務されています。毎朝ランニングを欠かさないスポーツマンです。休日にはお子さんと一緒に遊ぶ姿を見かけて、とてもなごみます。

中条 達也さん(32歳)  
 亜実さん(29歳)  
 玄さん(2歳)  
 麦さん(0歳)  
 の4人家族です



はじめまして。

名古屋から移住してきました中条達也、妻の亜実、長男の玄、長女の麦です。よろしくお願ひします。大自然と薪ストーブに憧れてここに来ました。

本当にここは何もないです。なので最高です。そして薪ストーブは良いです。見て良し、暖まって良し。嗅いでも良し。とにかく良しです。

しかし体を暖めるまでの道のりは険しいです。ソローの「森の生活」では、確か薪割りをするものは体を二度暖めるようなことを言っています。僕たちはまず木を集めないといけない。なので暖めるのは二度どころではない。

まずチェーンソーにびびって肝を冷やす。斧で肝を冷やす。汗で冷やす。暖めるどころかとりあえず、まず冷やしています。そして薪割りというのは難しいですね。現在割れたのは手のマメだけ。日々様々なことに挑戦して楽しんでいきます。

近所の皆様には、本当にいつもお世話になっています。これからも日々楽しんでいきます。よろしくお願ひします。

野平 中条達也

編集後記

10年程前から始めた鮎釣りの魅力にどっぷりはまり、ある程度腕が上達した頃から釣具メーカー主催の競技会に出場しているのですが、なかなか思うような結果が出ていません。

そんな中、いつもお世話になっている下呂の名人に「普段通りの釣りが出来てないな」と言われ、ふと数年前に豊田の名人にも同じ事を言われたのを思い出しました。競技会では決められた時間内に人よりも多く釣らなければならぬので、その緊張感から手はブルブル、足はガクガクでいつもはやらないミスを犯したりします。

いかに平常心を保ち、冷静に行動するかが鍵になるのですが、これは近年多発している地震や豪雨といった自然災害から最近大きな問題になっているあり運動などの人為的な要因に至るまで幅広く当てはまる課題ではないかと思ひます。

異常な事態に陥った時に適切な行動がとれるか：自分はまだまだ修行が足りないようです。

切久保編集委員 谷林 圭介